

相武台自治会だより

第17号
平成31年2月16日発行

どんど焼きに相武台神社がおお賑わい！

正月の松飾りなどを燃やし、1年間の無病息災や五穀豊穡を願う行事「どんど焼き」が1月12日（土）相武台神社境内にて行われました。寒さの厳しい中での開催でしたが、火の祭りとして沢山の方々に足を運んで頂きました。

早朝から、奉納品（松飾り・しめ縄・お札・書き初めなど）が山積みされていましたが、環境の問題もあり同神社氏子委員の手で丁寧に分別され、お焚き上げの準備がやっと整いました。

やがて、お清めの儀式に続いて火入れ式、徐々に炎が高く燃え広がりましたが、万が一に備え消防団員の方に待機して頂き万全を期しました。やっと炎が落ち着いたころ、事前に棒の先に刺された団子が来場者に配られ、熱炉を囲んで棒を伸ばしだんご焼きが始まりました。団子を焼き急ぎすぎた人もいましたがご利益を願い、その場で食べる人、袋に入れて持ち帰る人など様々でした。



美味しい豚汁に行列

なお、例年行われるこの行事は、関連団体のご協力もあって、熱々の豚汁や甘酒、ポップコーンなどが無料で振舞われ、こちらの方も大盛況で準備されたものがすべて完食しました。予定時間となり、消防団員さんに消火して頂き、どんど焼きが無事終了しました。



氏子委員による分別作業



そろそろ焼けたかな？

相東小で避難所開設訓練を実施

災害時に備え《震度6弱の地震が晴天の休日の朝8時に発生》という想定で避難所開設訓練を2月3日（日）相武台東小学校（相東小）にて実施。参加者らは避難行動により避難所開設場所となる相東小グラウンドに集結しました。

相東小では、自主防災組織（関連自治会）・相東小教員・市危機管理課や地域団体などの避難所運営委員が避難者受け入れ準備のため、防災備蓄倉庫から必要資材を各所に搬出、避難場所となる体育館の安全確認と床面清掃をしたのち避難者の居住場所となる位置にシートとマットを敷き詰め避難所を開設しました。

屋外では、今回初となる煙の恐ろしさを疑似体験できるテントが設営され、いつときの恐怖感を体験することができました。また、生活上に必要な仮設トイレの組み立て方や炊き出し方などの注意点に参加者は真剣に聞いたり覗き込んだりしていました。

続いて体育館内に移動し、避難者の生活スペースとなるマット上に座り込んで説明を受けたり居心地も確認して頂きました。

終了時には、訓練により炊き出された100人分の防災食が全員に配られ、訓練が終了しました。

ご近所の困り事を当自治会が解決！

- ① 1/10 26区ドミール相武台の前が暗く市役所に要望し防犯灯を増設をして頂きました。
- ② 1/25 13区内電柱に雑草が絡み危険のため市役所・東電に連絡し除去して頂きました。



今回初の煙体験テント



炊き出しと仮設トイレ見学



うむ！ 背中が痛いな～